

分科会および検討会における検討 内容と主な論点について

1. 検討会・分科会における主な検討内容
2. 検討会・分科会におけるご指摘内容一覧

1-1. 検討会・分科会における主な検討内容【第1回検討会資料より】

検討会名		検討事項
家庭エコ診断推進基盤整備事業検討会		<ul style="list-style-type: none"> ・全体統括 ・全体進捗管理 ・家庭エコ診断制度ガイドラインの検討 ・分科会へのタスクアウト ・分科会からのインプットの共有と調整
分科会名		検討事項
第一分科会	普及戦略検討分科会	<ul style="list-style-type: none"> ○受診者拡大のための方法の検討 ・スキーム別の受診者拡大のため手法検討 ・家庭エコ診断制度構築に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ※地域に根ざした診断実施スキームの検証 ※民間企業による診断実施スキームの検証(民間企業の採択)
第二分科会	資格制度運用・検討分科会	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭エコ診断制度の資格試験の構築 ・試験制度の運用体制 ・問題作成 ・合格基準の明確化 ・診断員の管理方法 ○診断データ利活用方策に関する検討 ○うちエコ診断ソフトを含む診断手法の改良に関する検討

1-2. 検討会、分科会における進め方

区分	平成25年度		
	第1回(5～7月)	第2回(12月)	第3回(1～2月)
家庭エコ診断推進基盤整備事業検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度事業実施方針の承認 ・分科会設置、分科会座長、委員等の承認 ・分科会での検討事項の共有 ・各分科会のスケジュール、進め方等の承認 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭エコ診断制度実施に向けたガイドライン案の確認 ・各分科会からの事業実施状況における、中間報告の確認および今年度事業全体の進捗状況についての把握 ・各分科会ごとの今後の進め方、考え方の調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度以降の家庭エコ診断制度実施に向けたガイドラインの確認 ・各分科会報告を受けた、平成25年度事業成果の検証・評価 ・平成25年度事業のとりまとめ
第一分科会 普及戦略検討分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭エコ診断制度における受診者拡大のための普及戦略検討 ・スキーム別試行実施内容の確認 ・民間企業等による診断試行実施の選考と採択 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭エコ診断制度における受診者拡大のための普及戦略の進捗状況の確認 ・スキーム別試行実施状況の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭エコ診断制度における受診者拡大のための普及戦略方策のとりまとめ、評価 ・地域に根ざした診断実施スキームのとりまとめ、評価 ・民間企業による診断実施スキームのとりまとめ、評価
第二分科会 資格制度運用・検討分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・資格試験制度の資格要件および実施方法についての検討と決定 ・うちエコ診断ソフトを含む診断手法の改良スキームの検討 ・診断データの利活用方策案の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度試行試験の実施結果の報告と平成26年度の資格制度に向けた対応案の検討 ・うちエコ診断ソフトを含む診断手法の改良案検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度にむけた資格試験制度運用方針・方法の決定 ・平成26年度診断実施に向けたうちエコ診断ソフトを含む診断手法の改良点の確認 ・平成26年度に向けた診断データ利活用方策のとりまとめ

2. 平成25年度検討会・分科会における主なご指摘内容一覧

項目	委員からの指摘	平成25年度事業における対応案
(1) 家庭エコ診断制度について	<ul style="list-style-type: none"> ① 制度名称や資格名称について、どのように検討を行うのか、提示いただきたい。 ② 制度運用に係るビジネスモデルの検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 制度名称や実施概要についてガイドラインにて取りまとめる予定。【資料2-1、2-2】 ② 資格制度の運用方法について費用も含めて検討を行う。【資料3-2】 民間試行実施を通じて診断サービスのビジネスモデル検討を行う。【資料3-1】
(2) 家庭エコ診断制度の普及方法について	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境に関心のない方が一般的に省エネのポテンシャルが高いため、環境に関心がない方への普及についても検討が必要である。 ② 平成24年度検討会で議論があった3分版、5分版の診断ツールの内容について提示いただきたい。 ③ 政府系金融機関や住宅支援機構におけるローンの要件として診断サービスと連携することを検討してはいかがか。 ④ 消費者にとって、診断を魅力として感じられるようなデータや効果の出し方が必要である。 ⑤ 市場調査結果からの受診者拡大に向けた分析において、環境への意識と行動を軸としてターゲットを分類しているが、その方法では「高いポテンシャルを持つセグメントを選定する」には不十分である。 ⑥ 受診者拡大に向けたターゲットセグメントへのアプローチ方法をしっかりと取りまとめた普及戦略立案が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①、② 診断を簡易に紹介するワンポイントアドバイスツールを作成し、活用する。【資料3-1】 ③ 制度全体として他の制度との連携について引き続き検討を行う。 ④ データ利活用方策と合わせて第二分科会において検討する。【次回検討会にて報告】 ⑤ 市場調査結果の再分析 ⑥ ⑤の情報を活用し、ターゲットへの具体的なアプローチ方法を明確にする(普及戦略の見直し)。【資料3-1】
(3) 制度運用上のリスクへの対応について	<ul style="list-style-type: none"> ① 民間事業者が名称を使用する場面とその範囲について整理いただきたい。 ② 診断員だけでなく、診断実施機関に対してもトラブルを起こした際の対応として指導、勧告、取り消しといった措置を整理が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ① リスクの対応方針をガイドラインとして取りまとめる。 ② 診断実施機関、診断員の認定やトラブル対応として第二分科会において検討する。【次回検討会にて報告】

2. 平成25年度検討会・分科会における主なご指摘内容一覧

項目	委員からの指摘	平成25年度事業における対応案
(4) 資格試験制度について	<ul style="list-style-type: none"> ① 連携先の資格としてどこを想定しているのか整理いただきたい。 ② うちエコ相談員の活動範囲を整理いただきたい。 ③ 診断員の能力として、診断テクニックだけではなく家庭エコ診断制度全体の理解が必要だと考える。 ④ 相談員、診断員を継続的にレベルアップしていく仕組みが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 連携先と連携方法について第二分科会において検討する。【次回検討会にて報告】 ② 資格試験制度としてガイドラインにて取りまとめる。【資料2-2】 ③ 資格試験制度の試験範囲として制度全体について追加した。【資料3-2】 ④ 相談員、診断員のレベルアップ方法について第二分科会にて検討する。【次回検討会にて報告】
(5) 診断データの活用について	<ul style="list-style-type: none"> ① 自治体にとって、診断で得られるデータは非常に重要である。個人情報に抵触しない範囲で、診断データを活用できるようにしていただきたい。 ② 民間事業者が診断データを継続的に利用する場合、追加のコストがかかるため、データ利活用にどれだけ価値を見いだせるか疑問である。 	<p>第二分科会において対応方針について検討する。【次回検討会にて報告】</p>
(6) 診断スキームの検討について	<ul style="list-style-type: none"> ① 30分診断の試行においては、何を検証するのか再度整理が必要である。 ② 診断後のフォローアップ方法として、受診者に負荷をかけないでデータを取得するスキームの検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 30分診断の試行の実施概要と検証内容について第二分科会にて整理を行った。【資料3-2】 ② 診断後のフォローアップ方法について第二分科会にて検討を行う。【次回検討会にて報告】

【参考】平成25年度事業全体スケジュール

